

パフォーマンス公演 ジル・ジョバン「Text to Speech」(テキスト・トゥ・スピーチ)

バックステージ特別公開・ポストトークイベント

バックステージ特別公開 2008年7月18日(金)・19日(土) 10:00～19:00

ポストトークイベント 7月21日(月・祝) 公演終了後

気鋭のスイス人振付家ジル・ジョバン来山！ パリ市立劇場を満席にした舞台作品の裏側を大公開

山口情報芸術センター[YCAM]では、2008年7月21日(月・祝)、スイス人振付家ジル・ジョバンの最新作「Text to Speech」を公演いたします。日本初紹介となる今回の公演に先立ち、YCAMではその舞台裏(バックステージ)を報道関係のみなさまに特別公開します。本作の準備・リハーサル風景を取材いただく機会を設けております。

また、公演日には、批評家 おおとり ひでなが 鴻 英 良 氏を招いたトークイベントも開催。鑑賞者に向け、公演の内容を振付家を交えてわかりやすく解説し、今回の公演内容をより深く理解していただける機会を提供いたします。

1997年以降、ヨーロッパや南米を中心に、これまで11作品のダンス公演を発表し、世界各地で注目される振付家ジル・ジョバン。パリ市立劇場1000席を満員にした本作の舞台裏の様子、批評家による解説をご覧ください。ことで、舞台作品の新たな魅力を発見していただきたいと思います。



「Text to Speech」©Dorothee Theibert

プレス向け バックステージ公開日

2008年7月18日(金)・19日(土) 10:00～19:00

リハーサルや練習風景、ステージ準備の様子を取材、また振付家へのインタビューも可能です。時間帯により、取材いただける内容は異なります。詳細は、下記までご連絡ください。

ポストトーク

2008年7月21日(月・祝) 15:15(公演終了後)～

山口情報芸術センター スタジオA

ゲスト：鴻 英良(おおとり ひでなが) 演劇批評家

ぜひこの機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター[YCAM] 広報担当：廣田、浅原

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 E-mail: information@ycam.jp

〒753-0075 山口県山口市中国町7-7 <http://www.ycam.jp>

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

プレス向けバックステージ特別公開

本公演の会場となるYCAMのスタジオAは、先駆的な作品の上演が可能な新しいタイプのホールです。

開催にともない、この会場の準備風景やダンサーの練習風景を18日(金)／19日(土)にマスコミ向けに公開する機会を設けております。

■スタジオA

座席は可動式で、舞台も座席も様々な形に組むことの出来る新しいタイプのホール。

舞台芸術の鑑賞・制作や音楽コンサート、作品の展示など、使用方法は多彩。

エンドステージタイプで約500名、最大約800名収容可能。

面積 1026.49㎡



© 山口市

プレス向けバックステージ公開

2008年7月18日(金)・19日(土)

10:00～19:00

リハーサルや練習風景、ステージ準備の様子を取材いただけます。時間帯により、取材いただける内容は異なります。詳細は下記までお問い合わせください。

山口情報芸術センター[YCAM] 広報担当：廣田、浅原

TEL：083-901-2222 FAX：083-901-2216 E-mail：information@ycam.jp

ジル・ジョバン「Text to Speech」

人間と物質との関係を巧みに紡ぎ出す振付家ジル・ジョバン

身体を取り巻く情報と架空の紛争を描いた最新作とともに日本初紹介

——静かにパソコンに向かう6人の男女、そして張り巡らされたロープと炎上するスクリーン。

パソコンから流れてくるニュースによって、パフォーマーは次第に身体のバランスを失い、他者と自分自身を傷つけていきます。さらに、舞台上の出演者は、音声ソフト「Text to Speech」が読み上げる紛争のニュースにシンクロするように踊りだします。こうした様子は、様々なメディアに囲まれて生活する私たちの「崩壊する個と個の関係」ともいえます。実在する紛争、遠く離れた私たちの目と耳に増幅するニュースや映像が創り出すイメージとは——。



「Text to Speech」 ©DorotheeThebert



ジル・ジョバン Gilles Jobin

振付／舞台美術

1964年ジュネーブ(スイス)生まれ。

1994年より世界のコンテンポラリーダンスの殿堂とも言える劇場やフェスティバルで作品を発表。2003年にはジュネーブの国立バレエ団に振付を委嘱されたほか、2005年には「Steak House」で、イタリア、フランス、ポーランド、バルトガルでツアーを行うなど、その活動が世界各地で注目されている。

東京公演

7月25日(金) 19:30開演／26日(土) 14:00開演(各回30分前開場)

会場：スパイラルホール(スパイラル3F)

東京都港区南青山5-6-23 www.spiral.co.jp

公演後、批評家を交えたポストトークを開催

本公演では、ダンスや舞台美術にくわえ、情報や身体といった現代社会の重要なテーマを扱う振付家の社会的な視点も重要なポイントとなっています。コンテンポラリーダンスの内容をわかりやすく解説するほか、本公演についての理解を深めるため、公演後には批評家を招いたポストトークを行います。

国際的に活躍する振付家と、海外の主要なフェスティバルのディレクターや審査員を務め、ヨーロッパの舞台芸術に詳しい批評家によるこのトークイベントは、山口限定の貴重な機会となります。

ぜひ、この機会に、パフォーマンスやダンスの新しい魅力を発見していただきたいと思います。

【トークゲストプロフィール】

鴻 英良(おおとり ひでなが)

演劇批評家

1948年、静岡県丹波島生まれ。

2002年～2004年国際演劇祭ラオコオン(カンブナーゲル、ハンブルグ)の芸術監督を務める。ウォーカー・アート・センター(ミネアポリス)グローバル委員、カイロ国際実験演劇祭の審査員などを歴任。『舞台芸術』など演劇雑誌の編集も手がける。著書に、『二十世紀劇場-歴史としての芸術と世界』、訳書に、タデウ シュ・カントール『芸術家よ、くたばれ!』、アンドレイ・タルコフスキー『映像のポエジア: 刻印された時間』、イリヤ・カバコフ『イリヤ・カバコフ自伝』など。

公演概要

パフォーマンス公演 ジル・ジョバン「Text to Speech」

2008年7月21日(月・祝) 14:00開演(30分前開場) 山口情報芸術センター[YCAM]スタジオA

【カンパニー ジル・ジョバン】

振付: ジル・ジョバン

音楽: クリスチャン・ヴォーゲル

照明: デザイン: ダニエル・デモン

出演: ジャン＝ピエール・ボノモ、ジル・ジョバン、リチャード・カボレ、
スン・イン・クオン、スザナ・パナデス・ディアス、
ルディ・ヴァン・デルメルヴェ

【日本公演】

舞台監督: 上林英昭 ツアーマネージャー: 桑原綾子

宣伝美術: 片岡 香

主催: 財団法人山口市文化振興財団

共催: 株式会社ワコールアートセンター

助成: 平成20年度文化庁芸術拠点形成事業

スイス・プロ・ヘルヴェティア財団

EU・ジャパンフェスト日本委員会

後援: スイス大使館

企画制作: 山口情報芸術センター(YCAM)、スパイラル

プロデューサー: 四元朝子(YCAM)

チケット情報

料金: 全席指定 未就学児入場不可

前売 一般 2,000円

any会員/特別割引 1,700円

当日 2,300円 ※当日は割引の対象になりません。

【チケットのお求め(sny会員、一般とも共通)】

■インターネット

<http://www.ycfcp.or.jp/> (24時間受付 要事前登録)

■電話

山口市文化振興財団チケットインフォメーション(YCAM内)

083-920-6111 (10:00～19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日)

■特別割引

特別割引は、青少年(18歳未満)、シニア(65歳以上)、障がい者及び同行の介護者1名が対象。

■託児サービス

対象: 0才(6ヶ月)以上

託児時間: 開演の30分前から終演30分後まで

料金: お子様1人につき500円、2人目以降は1人につき300円

申込方法: 7月14日(月)までにチケットインフォメーションまでお申し込みください。

■車椅子席・補聴システム

事前にお問い合わせください。

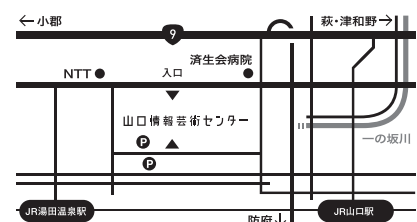
山口情報芸術センター[YCAM]までのアクセス

JR新山口駅から

- ・JR山口線湯田温泉駅下車、徒歩25分/タクシー5分
- ・JR山口線山口駅下車、徒歩25分/バス10分(中園町か済生会病院前下車)/タクシー5分
- ・防長バス/JRバス30分、中園町下車すぐ

自動車利用

- ・山陽自動車道で防府東ICから約30分・九州・中国自動車道で小郡ICから25分



山口情報芸術センター
Yamaguchi Center for Arts and Media